

Autodesk Showcase 2012 Service Pack 1 Readme

Autodesk Showcase® 2012 は、具体的な状況に沿ってデザインを評価したり、バリエーションをすばやく探したりするのに役立ちます。また、よりリアルな 3D プレゼンテーションやレンダリングを使用することで、デザインの背景にあるストーリーをわかりやすく伝えることができます。このソフトウェアの特徴として、ストーリーボードや映像作成ツール、新しい環境、直感的 UI、ナビゲーションテクニックが挙げられます。

この Readme では、Autodesk Showcase 2012 Service Pack 1 の既知の制限事項と問題点について説明します。本リリースをインストールする前に、このドキュメント全体を読むことを強くお勧めします。参照用として、この Readme をハードディスクに保存するか印刷してください。

その他の重要な注意事項や問題の回避策については、<http://www.autodesk.co.jp/support> にアクセスして、Showcase ナレッジベースを参照してください。

目次

インストールに関する注意事項	1
その他の情報の参照先	1
Service Pack 1 で解決された問題	2
機能の制限事項と注意事項	3

インストールに関する注意事項

オートデスク製品全般および Showcase 固有のインストール情報については、<http://www.autodesk.com/showcase-faq-2012-jpn> にアクセスして、Showcase の『インストールの概要と FAQ』を参照してください。

重要: Autodesk Showcase Professional をインストールする場合、または Kiosk (プレゼンター) モードで Showcase を実行する場合は、Showcase の『インストールの概要と FAQ』の、「Showcase インストールオプション」の中の次のセクションを参照してください。

- Showcase Professional のインストール
- Kiosk モードでの Showcase の実行

その他の情報の参照先

動作環境については、次を参照してください。

- <http://www.autodesk.com/showcase-systemreq-2012-jpn> または <http://www.autodesk.co.jp/showcase>

Showcase Learning Path については、次を参照してください。

- [http://www.autodesk.com/showcase-learningpath\(英語\)](http://www.autodesk.com/showcase-learningpath(英語))

新機能の概要については、次を参照してください。

- オンラインヘルプの「Autodesk Showcase 2012 の新機能」

この Readme の更新版については、次を参照してください。

- <http://www.autodesk.com/showcase-readme-2012-jpn>

Service Pack 1 で解決された問題

- テッセレーション設定の変更後、そして[読み込みステータス]ウィンドウでの再変換後に、オブジェクトが消えるという問題。影響を受けるのは、ベイク処理された頂点単位のアンビエントシャドウのオブジェクトにのみであり、頂点単位でないアンビエントシャドウのオブジェクトには影響しませんでした。これに対し、[読み込みステータス]ウィンドウで変換設定を更新した後にオブジェクトが消えたときに、オーガナイザでオブジェクトを選択後再度アンビエントシャドウのベイク処理を行うという回避策が採られていました。(381056)
- サイドバイサイド モードの使用中に、レイ トレーシングのオンとオフを切り替えると、1つ目のモデルが両方のビューに表示されるという問題。これに対し、左右のビューを切り替えて両方のビューが正しく描画させるという回避策が採られていました。(380416)
- レイトレーシングと[シーンを比較]機能の使用で、3つ以上のシーンが Showcase に追加されると、レイ トレーシングされたビューに複数のシーンが表示されるという問題。(ハードウェア ビューには影響なし)。これに対し、[シーンを比較]と一緒にレイ トレーシングを使用した場合は、比較のために一度に開くシーンの数を2つまでにし、比較に3つ以上のシーンが必要な場合は、レイ トレーシングを使用しないという回避策が採られていました。(380274)
- ネストされたマテリアルの読み込みがサポートされないという問題。(372911)
- ストーリーボードスライドから Flash プレゼンテーションを作成する場合に、スライドにサムネイルイメージがないと、作成が失敗するという問題。(「ファイルからイメージをロードできません」というエラーが表示される)という問題。これに対し、スライドを右クリック後[イメージを設定]を選択し、すべてのストーリーボードスライドに対してサムネイルイメージを表示させるという回避策が採られていました。(355104)
- Showcase 2012 ではストーリーボードスライドの環境が、絶対パスではなく相対パスで保存されるため(旧バージョンの Showcase は絶対パス)、旧バージョンの Showcase のシーンを開いたときにストーリーボードから環境が失われるという問題。失われた場合、スライドに再度環境を追加する必要がありました。(378652)

- クラスタ モードの使用中にサイドバイサイド モードを有効にするか、サイドバイサイド モードの使用中にクラスタ モードを有効にすると、クラスタ側がクラッシュするという問題。(380489)
- X-Rite MA98 分光光度計が正常に機能しないという問題。(384174) ただし、MA98 ドライバをインストールすると、いくつか問題が発生する可能性があります。以下の手順に従いドライバをインストールしてください。
 1. ユーザアカウントコントロールを無効にします。この設定は、**コントロールパネル > システムとセキュリティ > アカウントの設定の変更**で行います。
 2. コンピュータを再起動します。
 3. MA98 ドライバをインストールします。
 4. MA98 分光光度計を接続します。
- Showcase Professional が OpenGL でのみ立体視および同期/フレームロックをサポートするという問題。(383489) これを使用するには、以下の環境変数を追加し、Showcase Professional での OpenGL 表示を有効にする必要があります。
SHOWCASE_DEVICE_API = GL
- このほか、Autodesk マテリアルのレイ トレーシングを実行する際のパフォーマンスおよびメモリに関し、さまざまな改善を行いました。(381058)
- さらに、全般的なパフォーマンスおよびメモリに関し改善を行いました。

機能の制限事項と注意事項

Autodesk Showcase 2012 SP1 の既知の機能の制限事項と注意事項は、次のとおりです。

ファイルのオープンと読み込み

- DirectConnect でサポートされている形式(step、wire、iges、catia、jt など)のファイルの読み込みが、「...最新版の DirectConnect が見つかりませんでした。」というエラーで失敗することがあります。続いて、エラーメッセージに DirectConnect へのパスが表示されますが、バージョンは空です。このエラーは DirectConnect ファイル トランスレータのインストールに問題があったことを示します。問題を解決するには、次の操作を行います。
 1. Windows コントロールパネルで、DirectConnect 2012 と Showcase 2012 をアンインストールします。
 2. コンピュータを再起動します。
 3. Showcase をインストールします(DirectConnect は自動的にインストールされます)。
 4. コンピュータを再起動します。
 5. Showcase を起動します。これで DirectConnect でファイルを読み込むことができるようになります。(379983)
- サーフェスと 3D ソリッドに対して、AutoCAD UV 座標の方向が正しく表示されないことがあります。AutoCAD でジオメトリ タイプを変換するときは常に、AutoCAD のマテリアル ウィンドウでマテリアルを再適用する必要があります。AutoCAD で結果が正しいように見えても、Showcase で正しい結果を得るために、この手順が必要です。(379206)

- 場合によっては、読み込み後の Inventor ファイルの方向が正しくないことがあります。その場合は、[Home]キーを押してから、[読み込みステータス]ウィンドウで、読み込んだモデルのアップアクシスを Y 軸から Z 軸に修正します。(378320)
- [読み込みステータス]ウィンドウの単位が変更された場合(cm から m への変更など)は、シーンには変更が反映されますが、[読み込みステータス]ウィンドウには変更は反映されません。(372375)

グラフィック カード

- サポートされているグラフィック カードを使用してください。シーンの表示に問題がある場合(シャドウがない、マテリアルが平面または黒一色で表示されるなど)、グラフィック カードがサポートされていない可能性があります。
<http://www.autodesk.com/showcase-systemreq-2012-jpn> または
<http://www.autodesk.co.jp/showcase> に記載されている動作環境を確認してください。
- Showcase では、ブルーム効果を加えた画像をレンダリングするときに、大容量のグラフィック メモリ(グラフィック カードの RAM)を必要とします。ブルーム効果を有効にした状態で大きな画像を保存しようとする、問題が生じることがあります。(352551)

回避策: 大きな画像の保存中に異常終了やグラフィック ドライバのリセットが起こった場合は、より低い解像度での保存を試すか、グラフィック RAM の容量が大きいマシンで画像をレンダリングしてください。画像の最大サイズは、使用できるグラフィック メモリの容量によって決定されます。(たとえば、A1 サイズの画像は 9000x7000 ピクセル以上になります。この画像をレンダリングするには、グラフィック メモリに 1GB 以上の空き容量が必要です。)

- Showcase は、仮想マシン上では実行できません。(376246)
- Showcase は、デュアルモニタ構成で、1 つ以上のモニタが回転されている状態で使用すると、動作が不安定になることがあります。この問題を回避するには、すべてのモニタを横置きに切り替えてください。(344742)
- スクリーンセーバーの使用時や、コンピュータがロックされた後に、いくつかの問題が発生することがあります。たとえば、レイ トレーシングしたシーンが正しく再表示されなかったり、グラウンドシャドウが正しく表示されないことがあります。この問題を回避するには、スクリーンセーバーを無効にするか、レイ トレーシングをオフにします。または、スクリーンセーバーが開始された後に、ビューを少し変更してシーンが再描画されるようにします。(378926, 374816, 370323)

シーンのオーサリング

- [スライド プロパティ]ダイアログ ボックスから複数の項目を削除してから、削除を元に戻すと、項目の配置順が元に戻らないことがあります。
- プロキシサーバを使用するコンピュータから YouTube の動画をアップロードしようすると、アップロードが失敗することがあります。回避策: Showcase ではユーザがファイルを YouTube にアップロードしようとしたときに、ファイルのローカルバージョンが保存されます。プロキシサーバやその他のネットワーク障害などが原因でアップロードで

きないときは、YouTube の Web ページを使用して手動でアップロードしてください。
(381597)

- レイトレーシングでデカールが黒一色で表示される(カラー情報が表示されない)ことがあります。回避策: [編集] > [サーフェス法線を常にカメラに向ける]を選択します。このようにすると、レイトレーシングでカラーのデカールが表示されます。(379885)
- Showcase で、Autodesk マテリアルのオブジェクト別の色の設定が無視されます。(379584)
- 場合によって、環境モデルが置換または再ロードされた後に、シャドウが消えることがあります。(378115)
- 環境フロアより下のオブジェクト(基礎など)が、異常なシャドウを投影することがあります。(375629)
- オーガナイザの[新しい配置を作成]ダイアログ ボックスで、アクセント付きの文字(英語以外)を入力できない場合があります。回避策: 別のアプリケーションから目的の文字をコピーして貼り付けます。(375551)
- 断面の使用中に、シャドウが期待どおりに表示されないことがあります。(371887)
- Showcase シーンが含まれている ZIP ファイルを、Showcase で正常に開くことができない場合があります。この問題を回避するには、Showcase の外部で ZIP ファイルの内容を解凍し、A3S ファイルを直接開きます。(362933)
- カメラのタンブルまたはトラッキング中に、他のオブジェクトの背後に断面のアウトラインが表示されることがあります。(359659)
- サイドバイサイド モードで、モデルの断面のアウトラインが両側(両方のビュー)に表示されます。(353625)
- フェード トランジションが原因で、ショットの再生完了後に、シーンが通常より暗く表示されることがあります。フェード トランジションの時間が長いほど(数秒間)、この影響が明確になる場合があります。この問題は、ムービーとして保存されたショットには影響しません。この問題が発生するのは、ショットがインタラクティブに再生された場合のみです。この問題を回避するには、デフォルトのフェード時間を使用するか、ショットシーケンスの最後にフェード トランジションなしの静止ショットを追加します。(351974)
- 空のラボ環境では、レイトレーシング時に予期しない動作が発生することがあります。たとえば、シャドウが正しくレンダリングされないことがあります。(346195)
- トリガを作成するときの、動作リストのアイコンは、指の形です。ショットや他の動作と同様、アイコンを右クリックして[イメージを設定]を選択すると、サムネイルが作成されます。しかし、サムネイルのオーバーレイ アイコンでは、トリガがターンテーブルとして誤って認識されます。この問題を回避するには、トリガは、既定の指の形のアイコンのままにしておきます。トリガに対して[イメージを設定]を選択する場合は、トリガであることが簡単に識別できるように名前を変更することを検討してください(「Tr-Door」など)。また、プレゼンテーション モードで、トリガに割り当てられたサーフェスにカーソルを合わせることで、トリガをインタラクティブに確認できます。(332286)
- 場合によっては、平面のデカールが平面または半平面のサーフェスに割り当てられていると、サーフェスに継ぎ目や線が表示されることがあります。この問題を修正するには、軸の設定されている平面で少しずつデカールのスケールを変更します。(313492)

- 1:1 表示のキャリブレーションを行って有効にした後、ViewCube を使用して正投影ビューに移動すると、状態が維持されません。(275482)
- 場合によっては、インタフェース イメージ、シーン テクスチャ、シャドウなどの一部の Showcase の表示項目が正しく表示されなくなることがあります。この問題は、環境の作成、アンビエント シャドウの計算、複雑なレイ トレーシングなど、メモリが集中的に使用されるタスクが原因でまれに発生することがあります。この問題が発生したときは、シーンを保存し、Showcase を再起動してください。(378118)
- レイ トレーシング モードで Autodesk マテリアルを使用するときに、サンプリングのアーティファクトがない状態で滑らかな外観のマテリアルを作成するには、Showcase マテリアルより高いレイ トレーシング サンプリング レートが必要になることがあります。[ファイル]>[プリファレンス]>[パフォーマンスおよび品質]>[ピクセルあたりのサンプル数]スライダを使用して、この変更を行います。(379743)
- 同様に、オブジェクトのエッジのアンチエイリアシングが不十分な場合は、ピクセルあたりのサンプル数を増やします。(376847)
- MOV ファイルおよび FLV ファイルは、Showcase の YouTube 機能を使用して YouTube にアップロードすることはできません。これらの種類のファイルは、個別に手動で YouTube アカウントにアップロードする必要があります。(384914)
- [ムービーを保存]ウィンドウで[すべてのショットを個別に処理する]を選択して AVI ファイルを作成した場合、Showcase を使用してその AVI ファイルを YouTube にアップロードすることはできません。(384974)
- MOV、MP4、または FLV 形式で保存する場合、[すべてのショットを個別に処理する]オプションを指定してムービーを作成することはできません。(384972)

Autodesk, and Showcase are registered trademarks or trademarks of Autodesk, Inc., and/or its subsidiaries and/or affiliates in the USA and/or other countries. The images: Sepulveda, Dry lake bed, and Exhibit hall have copyright restrictions, including a restriction on use for external marketing materials. Use of these images is also subject to the terms and conditions of the Software License and Services Agreement accepted upon installation of Showcase and/or packaged with Showcase. All other brand names, product names, or trademarks belong to their respective holders. Autodesk reserves the right to alter product and services offerings, and specifications and pricing at any time without notice, and is not responsible for typographical or graphical errors that may appear in this document.

© 2011 Autodesk, Inc. All rights reserved.